

2006年2月1日
東京ガス株式会社

第3四半期決算について主なQ&A

Q:天候デリバティブの支払いが発生した理由は何か？

A:当社では、当期に気温が高くなるとガスの販売量が減る方向にあるため、気温影響による収支の変動を抑える目的で、複数の相手と天候デリバティブ契約を締結しています。本年度は低気温で推移してきたため、家庭用を中心に販売量が増加し売上げ増となっていますが、一方、ヘッジとして実施した天候デリバティブは支払いが発生しています。

Q:ガスの販売量が計画を上回る勢いで増えているにもかかわらず、年度の利益予想が下方に修正されるのはなぜか？

A:確かに、冬場の低気温に伴う家庭用を中心としたガスの販売量は計画を上回るペースで伸びています。一方、ガスの主原料となるLNGの価格は原油価格との連動によって決まる部分があり、このところの原油価格の高騰を受けLNG価格も計画以上に上昇しております。原料価格の変動は約6ヶ月遅れでガス料金に反映する原料費調整制度が適用されるため、中長期的には収支への影響は軽微ですが、年度を区切ると回収不足が発生します。

以上